

校長室より

## 「二松から飛翔へ」

二松学舎大学附属高等学校  
校長 鶴飼教之

## 授業参観 始めました

今週から先生方の授業の様子と各学年・クラスの雰囲気を確認しています。廊下をフラフラ回るだけでは見えてこない授業の臨場感を一緒に味わっています。

生徒の皆さんには年度のはじめに「授業を大切にしよう」というメッセージを伝えました。先生方にも普段の授業で生徒の持てる力を最大限引き出すように工夫して授業に臨んで欲しいと思っています。

教員の仕事は、とかくブラックだと指摘されますが、先生方はとつても丁寧に授業に臨んでいます。



## 【末木 孝之 先生 4月24日(月)2限「論理国語」2年D組】

今日の授業は、評論文「天然知能として生きる」を素材に、人間の知性の在り方について考えを深める授業でした。最近AIの進化は目覚ましく、チャットGPTなる新たな人工知能が開発され、政府をはじめ大学等でも対応を迫られているようです。今日の素材はまさに今の課題を考える上で重要な内容でした。AIを使った絵画作品の受賞を辞退という話も紹介され、「創造を楽しむことができる知性」について掘り下げた授業でした。



## 【戸張 誠 先生 4月24日(月)3限「現代文B」3年B組】

iPad をフルに活用した授業を展開しています。生徒一人一人の思考や判断、表現などを手元の教員用機器で集約し、その都度、生徒の反応や解答を確認しながら授業を進めていました。生徒は23名ほどですので、テンポよく授業は進み、途中、論語の考え方や本校の校訓である「仁愛」にまで話が及びました。つつい論語に話が飛ぶ先生の論語への思いは熱いですね。

## 【松澤 龍 先生 4月24日(月)5限「古典探求」2年A組】

BUTTERFLY EFFECT のいで立ちで登場されたので、一瞬部活動？ いや、古典の授業でした。いきなりじゃんけんが始まり、負けた生徒が板書に書かれている古典の本文の品詞分解を進めます。1年生で学んだ文法事項を確認しながら、「前見て！」と生徒に指示する姿は真剣そのもの。授業での内容が実際の入試問題にも直結するとの話は説得力がありました。



## 【戸井田 晃尚 先生 4月25日(火)2限「現代文演習」3年B組】

3年生特進クラスの演習科目ですので、始業の挨拶が終わるや否や評論文の入試問題に着手です。先生が重要語句や考え方を、その都度解説し、読み進めながら授業は進行していきます。途中、自分で解いた問題の正誤について、ペアで確認しあう場面を意図的につくられ、考え方の根拠や他者の捉え方を理解する時間をもつなど幅広い知識や考え方を身に付けるために重要な機会だと思いました。

## 【野木 繁 先生 4月25日(火)3限「現代国語」1年C組】

高校生活にもやっと慣れつつあるフレッシュな1年生を対象に現代文の授業は「木を見る、森を見る」という教材でした。今日のkeywordは『視点』。黑板には何か所もこの言葉が並び、マクロの視点・ミクロの視点で物事をとらえるという説明もありました。途中、視点を変えて短所を長所にしてみようという演習が課されました。例題は「せっかち」「マイペース」「お節介」などです。うまく言い換えてできますか。

